

UV-Cの可能性を広げる 岡本硝子のUV高反射インク

UVによる殺菌・滅菌光の照射の効率アップを実現します

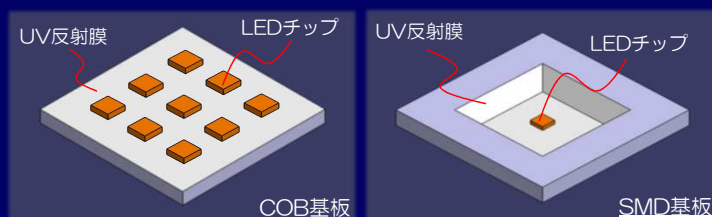
UV反射膜 UV479

< 特徴 >

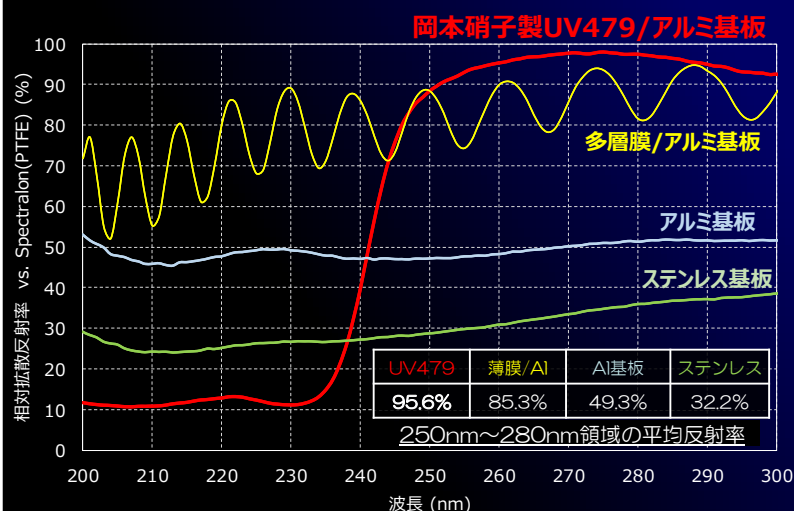
- ① UV-C帯域領域(250~280nm)においてアルミ基板に比べ約2倍の高反射率
(UV479: 95.6% / アルミ基板: 49.3%)
- ② 耐久性が高いため、高出力でも運用可能
- ③ 当社独自技術により、複雑な凹凸、形状面への塗布が可能

< 代表的用途 >

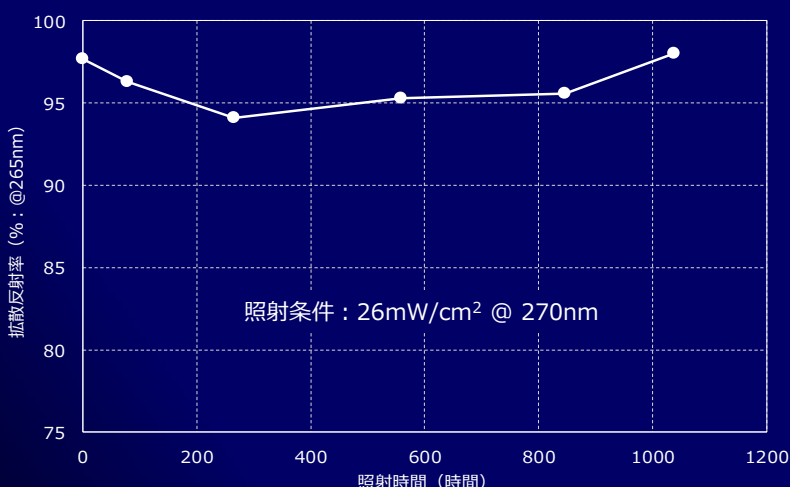
- COB/SMD基板の高反射化
- UV殺菌・消毒機器の高出力化



UV反射膜実装例



UV-C領域の反射特性比較



UV耐久試験結果

< 耐久性評価例 >

試験項目	試験条件	結果
耐熱試験	200℃ ×1,000時間	5%以上の 反射率低下無し
恒温恒湿試験	60℃/90% ×1,000時間	
サイクル試験	25℃↔260℃ 10サイクル	剥離・変色無し

< 混合・硬化条件 >

混合割合	材料	濃度
	主材料 (UV479)	100wt%
硬化材 (OG840)	2.0wt%	

注: 必要に応じて希釈材で粘度を調整してください。

硬化	工程	装置	温度	保持時間
	乾燥	ボックスオープン/ ベルト式ドライヤー	90℃	10分
硬化		180℃	180分	

注: 乾燥機は十分に換気してください。
表面を指で触った際に十分乾燥していることを
感じるまで硬化してください。

